

花物語

—日本近現代絵画にみる花の表現—



岸田劉生『籠中脂香』1923(大正12)年 茨城県近代美術館蔵



徳岡神泉『椿』1922(大正11)年頃 東京国立近代美術館蔵

第1章：出品作家

荒木十畝
川合玉堂
菱田春草
池上秀畝
小林古徑
安田靉彦
前田青邨
土田麦僊
中村岳陵
小茂田青樹
小山大月
福田平八郎
金鳥桂華
山口蓬春
速水御舟
小倉遊亀
徳岡神泉
山口華楊
山本丘人
吉岡堅二
中村正義
近藤弘明
平川敏夫
黒田清輝
藤島武二
和田英作
熊谷守一
萬 鉄五郎
小絲源太郎
安井曾太郎
牧野虎雄
岸田劉生
長谷川利行
須田国太郎
児島善三郎
中川一政
野口謙蔵
麻生三郎
杉全 直
島田章三
久野和洋

第2章：出品作家

和田英作
奥村土牛
麻田辨自
吉田善彦
高山辰雄
守屋多々志
郷倉和子
平川敏夫
松尾敏男
後藤純男
伊藤 彬
平松礼二
林 潤一
林 功
川村悦子
森田りえ子
(順不同)

2004年9月18日[土]—10月31日[日] 刈谷市美術館

Kariya City Art Museum 〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4-5 TEL.0566-23-1636 FAX.0566-26-0511 <http://www.city.kariya.aichi.jp/museum/>

休館日=9月21日[月]、24日[木]・27日[日]、10月4日[日]・12日[月]・18日[日]・25日[日] 開館時間=午前9時—午後5時(入館は午後4時30分まで)

主催=刈谷市、刈谷市教育委員会、刈谷市美術館、中日新聞社 後援=愛知県教育委員会 協力=高砂香料工業株式会社

入場料=一般600円(400円)、高大生400円(200円)、中学生以下は入場無料()内は前売及び20名以上の団体料金。

前売券の販売先=サークルK(愛知・岐阜・三重・長野県下の各店舗)、チケットぴあ、ファミリーマート他 ※身体障害者・精神障害者保健福祉・療育の各手帳所持者及び付き添いの方(1名)は入場無料。手帳をご持参ください。

愛地球博
EXPO 2005 AICHI JAPAN

花物語

—日本近現代絵画にみる花の表現—

春夏秋冬、はっきりと四季が変化する日本では、その折々で多様な色とかたちをもった花が咲き誇り、私たちを楽しませてくれます。こうした花は、草花や鳥などの生きものを描く花鳥画などで古くから表現されてきました。西洋絵画に大きな刺激を受けた明治以降、様々な美術の潮流が生まれるなかでも、花の姿や生命の神秘性などに触発された多彩な作品が生まれ出されてきました。

「花物語」展は、日本近現代絵画における花の表現を二部構成で紹介する展覧会で、日本画家・洋画家の作品約60点を展覧します。第一章では、明治以降の画家たちがどのように花を表現してきたのか、その魅力の一端を日本画と洋画に分けて概観します。第二章では、花の種類別で作品を展示します。梅、椿、桜、牡丹、藤、杜若、蓮、菊を、画家たちがいかにその花の持つイメージを引き出したか、独自の眼差しでとらえて作品に結実させたのかを見ていくとともに、それぞれの花にまつわる文化などもご紹介しします。また、花には特有の香りを放つ種類もあり、芳しい香りが花に秘める魅力のひとつとなっています。本展では出品作品に描かれた花から、こうした香りを体験できるコーナーを設けます。匂いの感覚によっても花の魅力にせまり、イメージを広げながら花の表現を楽しむことで、日本人の心に息づく繊細な美意識や私たちと花との関係を見直す絶好の機会といえるでしょう。どうぞ、花で満ちた美術館へお越しください。



以下の作品等は会期中に展示替えいたします				展示予定期間	
菱田春草	春暁	1902(明治35)年	飯田市美術館蔵	9月18日[土]~10月11日[月]	
小倉遊亀	初夏	1928(昭和3)年	滋賀県立近代美術館蔵		
小林古径	草花	1935(昭和10)年	横浜美術館蔵	9月18日[土]~10月17日[日]	
前田青邨	薔薇	1966(昭和41)年	西宮市大谷記念美術館蔵		
小茂田青樹	ボンボンダリア	1922(大正11)年	横浜美術館蔵	10月2日[土]~10月31日[日]	
安田敦彦	窓	1951(昭和26)年	横浜美術館蔵		
速水御舟	水仙図	1925(大正14)年	横浜美術館蔵		
菱田春草	夜桜	1904(明治37)年	飯田市美術館蔵	10月13日[水]~10月31日[日]	
土田麦樗	朝顔	1929(昭和4)年	京都市美術館蔵		

会期中の催しもの

I 講演会

9月25日[土] 13:30~15:00
 「野の花を楽しむ」横山則一氏(自然観察家)
 美術館2階研修室 定員:100名(先着順)
 ※聴講無料(要展覧会チケット)
 普段、見過ごしてしまふような野の花の姿を、スライド写真を交えながら紹介いたします。

II 日本の香りを楽しむ

9月23日[木・祝]、25日[土]、26日[日]
 10月2日[土]、3日[日]、9日[土]、10日[日]、
 11日[月・祝]、31日[日]
 13:00~15:00 一服300円
 美術館隣の茶室(佐喜知庵)にて、日本の香りに親しんでいただけます。あわせて週替わりで登場する花をとりあげた美しい和菓子と一緒に抹茶もお楽しみください。

III 期間限定カフェ 「秋牡丹(しゅうぼたん)」

9月19日[日]、20日[月・祝]・10月23日[土]、
 24日[日]
 11:00~15:30
 美術館隣の茶室(佐喜知庵)では、香りを楽しむ中国茶などのお茶を楽しんでいただく期間限定カフェ「秋牡丹」を開催します。「秋牡丹」開催中の呈茶(お抹茶)はありません。あらかじめご了承ください。

IV つくる・みるプログラム

- ①「ハッピー☆フラワー」
 9月19日[日] 10:00~12:30
 対象:小学1年生~3年生
 参加費:100円(レクリエーション保険代)
 定員:15名
 内容:和紙をちぎってつくった花びらをつけて、自分だけの花をつくります。
- ②「香る花々」
 9月19日[日] 14:00~16:00
 対象:小学4年生~中学3年生
 参加費:200円
 (レクリエーション保険代+材料費)
 定員:24名
 内容:花の香りからオリジナルの絵を描きます。必ず、水彩絵の具一式を持ってきてください。
- ③「私の“花物語”」
 9月20日[月] 13:00~16:30
 対象:20歳以上
 参加費:500円(要展覧会チケット)
 (レクリエーション保険代+材料費)
 定員:24名
 内容:展覧会を鑑賞し、参加者全員でディスカッションします。花のいろいろな見方を広げた後、自分の名前をきっかけに自分だけの花を描きます。

講師:各回すべて山口ももさん(美術家)
 申し込み方法:「往復はがき」か「FAX」にて、参加したいプログラム名、参加者名(ふりがな)、住所、TEL/FAX、年齢(学年、学校名、保護者名)をご記入のうえ美術館までお申し込みください。なお、返信用はがきにも住所と名前を記入してください。
 ※定員を超えた場合は抽選とし、結果をお知らせします。しめきりは、それぞれの開催日の10日前(必着)まで。

あて先:〒448-0852 刈谷市住吉町4-5
 刈谷市美術館 FAX.0566-26-0511

V 見かた発見ツアー

毎週火曜日(休館日は除く)10:30~11:30
 対象:18歳以上 定員:6名(先着順)
 まず、あなたが見ることから作品鑑賞をはじめませんか?そうした見かたを参加者全員で話し合うことで、さまざまな視点で作品と向き合う見かたを発見していくプログラムです。参加費:無料(要展覧会チケット)開始時刻に1階ロビーへお集まりください。

VI ギャラリートーク

10月9日[土]、10月17日[日]
 14:00~15:00
 参加費:無料(要展覧会チケット)開始時刻に1階ロビーへお集まりください。

- ① 川合玉堂『山村春麗』1911(明治44)年
水野美術館蔵
- ② 安田敦彦『窓』1951(昭和26)年
横浜美術館蔵
- ③ 奥村土牛『蓮』1961(昭和36)年
山種美術館蔵
- ④ 小糸源太郎『嬋娟』1937(昭和12)年
東京国立近代美術館蔵
- ⑤ 黒田清輝『花と猫』1906(明治39)年
愛知県美術館蔵
- ⑥ 熊谷守一『扶桑』1964(昭和39)年
メナード美術館蔵
- ⑦ 杉全直『喰人花』1947(昭和22)年
東京都現代美術館蔵

【交通のご案内】

- ◎JR:名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口より徒歩10分
- ※「刈谷駅」はJR「名古屋駅」から快速で約15分
- ◎車:名古屋方面より=国道23号線(知立バイパス)
「一ツ木」出口から約5km 駐車場60台(無料)



Kariya City Art Museum
刈谷市美術館
 〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4-5
 TEL.0566-23-1636 FAX.0566-26-0511
<http://www.city.kariya.aichi.jp/museum/>